

高等部 第1～3学年O組 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 ○月○日 (○) 9:50～10:40

場 所 小体育館、A棟教室

指導者 T1○○○○ T2○○○○

他6名

1 単元名 交流を深めよう～○○○○高等学校との交流②～

2 単元の目標

- (1) 同年代との交流や事前事後学習を通して、仲間と活動をつくり上げる充実感や様々な考えに触れる楽しさを感じる。
- (2) 交流を深めるための活動について話し合う中で、自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いて自分の考えを見つめ直したりする。

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは、各教科等を合わせた学習グループと教科を主とする学習グループの生徒21名で構成されている。交流会は年4回、高等学校2校と聴覚支援学校高等部と行っている。

生活の場が限られている生徒が多く、関わる経験や様々な考えに触れる機会は少ない。そのため、初対面の相手に対する緊張感が強い生徒や、同年代との交流に不安感をもつ生徒もいる。しかし、これまで自分たちで計画した交流活動で関わり場をつくってきた経験から、自分から関わりたい、仲間と共に交流会を盛り上げたいという前向きな気持ちが高まっている。

活動内容を決める話し合いでは、3年生は下級生の意見を積極的に聞き、皆が納得する形で話をまとめようとしている。1、2年生は、経験を基に意見を出したり、準備段階から役割を積極的に担ったりしている。

(2) 単元について

本単元は、3回目の交流である。今年度は生徒の意見を基に交流のテーマを設け、【計画(事前)→実行(交流会)→振り返り(事後)】の学習活動を繰り返してきた。また、関わり場面を増やすには小グループが適していると考えられる生徒が多く、4つのグループ別に交流会を計画している。

1回目のテーマは『互いを知る』とし、会話の機会をつくることに重点を置いたグループ活動(サイコロトーク、風船バレー等)を計画した。事後学習では、「緊張して話し掛けられなかった」「もっと時間がほしかった」「会話を広げなかった」という反省が挙がり、時間をかけて関わりたいと考えていることが分かった。そこで2回目の交流は『より互いを知るために関わりを増やす』をテーマとし、風船バレーで打ち解けてからフリートークを行うなど、関わりやすい状況づくりを工夫した。生徒自ら関わる場面が増えた一方で、「グループ全員が関わられるようにしたい」「困ったときは助け合いたい」と、集団として交流を成功させたい気持ちが反省に挙げられた。

本単元では、生徒が話し合い、『みんなが話しやすい環境をつくる』というテーマを設定した。事前学習では、これまでの経験を基に、グループメンバーの性格等を考慮した活動内容や、仲間同士が話しやすい環境をつくる方法を話し合う。それを交流会の場で実践することで、用意した方法が有効であったかを省み、仲間と共に活動をつくり上げる達成感を得られると考える。事後学習では、相手校生徒の感想と仲間や自分の反省を基に活動を評価し、次回の課題や改善方法を考える。この積み重ねを通して、課題解決に主体的に取り組もうとする気持ちを育みたい。

(3) 指導について

- ・目的意識をもって交流会に臨めるように、テーマの他、個別目標を設定し、自己評価する機会を設ける。☐
- ・交流相手をイメージし、会話時の話題を考えられるように自己紹介カードを事前に交換する。☒【環境の把握(5)】
- ・計画した活動がテーマに合っているか考えたり、交流会を円滑に進めたりできるように、シミュレーションの機会を繰り返し設定する。☐ ☐【コミュニケーション(5)】
- ・打ち解けやすい雰囲気をつくるため、グループ活動の前に「名刺交換ゲーム」を行う。☒【コミュニケーション(5)】
- ・事前学習で計画したことを交流の場面で進んで実践できるように、心理面に配慮しながら誘い掛けをする。☒【心理的な安定(2)】
- ・活動を客観的に評価できるように、交流相手からの感想や評価を要約して紹介する。☐

4 本単元における生徒の実態及び目標（抽出グループ「〇〇〇〇〇」の生徒5名のみ）

※A、B、Cは各教科等を合わせた学習グループ、D、Eは教科を主とする学習グループに所属している。

氏名	実 態	目 標
A (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 交流相手に自分から話し掛けることは難しいが、仲間に関わる様子を見て楽しむ。 交流経験を基に活動案を出す。仲間の意見やその理由の説明を受けると、納得して仲間の意見に賛成することもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から質問したり、共感の気持ちを表したりして関わる。【豊 手】【人間関係の形成 (4)】 仲間の意見を聞いてよいと感じたことを話したり、自分の考えに取り入れたりする。【豊】【コミュニケーション (5)】
B (1年・女)	<ul style="list-style-type: none"> 会話にはうなずきや笑顔で応じながら交流に参加する。順番が決まっていたり指名されたりすると教師と相談しながら話す。 話合いで自分からの発言は難しいが、質問されると教師と一緒に答えを考えて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流相手に質問したり、感想を話したりする。【豊】【人間関係の形成 (4)】 希望する活動を挙げたり選択したりし、理由を説明する。【豊 豊】【コミュニケーション (5)】
C (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 会話に加わるタイミングをつかむと、自分から質問や感想を話す。 話し始めるまで時間が掛かるが、伝えたいことがあると自分から詳しく説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ちながら会話に加わり、話したいときには挙手をする。【豊 豊】【人間関係の形成 (4)】 仲間の意見を基に考えて発言したり、折衷案を出したりする。【豊 豊】【コミュニケーション (5)】
D (1年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 会話を聞いていることが多いが、関心のある話題では自分から会話に加わる。 少人数の話合いでは、自分から意見を出す。理由を求められると分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> うなずきや笑顔で会話に加わり、タイミングを見計らって話し掛ける。【豊 豊】【人間関係の形成 (4)】 意見が仲間に伝わるよう詳しく説明したり、仲間が納得するような意見を出したりする。【豊 手】【コミュニケーション (5)】
E (3年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を丁寧に説明したり、相手に感想を伝えたりし、楽しい場をつくろうとする。 経験を基に意見を出す。話合いのリーダーとして仲間の意見を尊重するため、結論を出すまでに時間が掛かることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間が会話に加わるように指名や質問をする。【豊 手】【人間関係の形成 (4)】 仲間の意見の理由を詳しく聞き、それを基に話合いを進める。【豊 手】【コミュニケーション (5)】

5 指導計画（総時数9時間）

小単元名	時数	小単元の目標
1 交流の準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> 交流テーマと自己目標設定 グループ活動計画 交流会リハーサル 	5時間	<ul style="list-style-type: none"> 前回の交流を振り返って交流テーマを考え、それに沿った自己目標を立てる。 交流テーマや交流相手を意識して話合い、互いの意見を調整しながらグループ活動を計画する。 シミュレーションを通して課題に気付き、相談し、改善しながら計画を立てる。 交流会の流れや動きが分かり、自分たちの力で会を進めようとする意識をもつ。
2 交流会を楽しもう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの会 2 名刺交換ゲーム 3 グループ活動 4 おわりの会 </div>	2時間 本時 (1、2/2)	<ul style="list-style-type: none"> グループの仲間と協力し、同年代の相手と主体的に関わる。 一人一人が役割を果たし、交流会を盛り上げたり円滑に進めたりする。
3 交流を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> 自己目標の評価 掲示物の作成 交流テーマの振り返り 	2時間	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動の反省や交流相手からの感想を基に、自己目標の反省をする。 記録写真を参考にしながらグループごとに交流会を振り返りよかった点や反省点をまとめる。 交流テーマに沿って交流会を評価し、次回に向けた課題やその改善策を出す。

6 本時の実際（総時数9時中の6、7時）

(1) 本時の目標

- ①グループの仲間と協力し、同年代の相手と主体的に関わる。
- ②一人一人が役割を果たし、交流会を盛り上げたり円滑に進めたりする。

(2) 個別の目標

A (1年・男)	B (1年・女)	C (1年・男)	D (1年・男)	E (3年・男)
<ul style="list-style-type: none"> 交流相手に質問したり、相づちを打ったりする。 【人間関係の形成(4)】 「おわりの会」の感想発表で、交流会での経験や感想を具体的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に質問や感想を考えて自分から会話に加わる。 【人間関係の形成(4)】 交流相手と一緒に歌ったり踊ったりして終わりの会を盛り上げる。 【コミュニケーション(5)】 	<ul style="list-style-type: none"> 話したい意思を挙手で表し、会話に加わる。 【人間関係の形成(4)】 相づちを打ちながら相手の話を聞く。 【コミュニケーション(5)】 	<ul style="list-style-type: none"> 会話が途切れたときに質問等で会話をつなぐ。 【コミュニケーション(5)】 相手の顔を見て相づちを打ちながら話を聞く。 【人間関係の形成(4)】 	<ul style="list-style-type: none"> 交流相手に質問や共感の言葉を話す。 【コミュニケーション(5)】 本校のメンバーが会話に参加できるように指名や質問をする。 【人間関係の形成(4)】 <p>※グループ活動進行役</p>

※(波線)はキャリア教育の視点、MSゴシックは自立活動の視点

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点(手立て含む)	準備物	(4) 配置図
20 (分)	<p>☆進行は生徒が行う。</p> <p>1 はじめの会をする。</p> <p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 〇〇〇高校生入場 歓迎の言葉 本校学校紹介 〇〇〇高校生の自己紹介(特技披露) 	<p>・交流会への目的意識や意欲を高められるように、テーマや個人目標について会の前に質問する。(T1)</p> <p>・自己紹介や特技披露に注目できるように、補足説明をしたり教師の感想を話したりする。(T全員)</p> <p>・自己紹介を盛り上げられるように、拍手や掛け声をリードする。(T全員)</p>	<p>移動式ホワイトボード 会次第 歓迎メッセージ</p>	<p>小体育館</p>
10	<p>2 名刺交換ゲームをする。</p> <p>【ルール】</p> <p>1つのグループ対相手校生徒全員で名刺交換をする。1分間の歌が流れる間により多くの名刺を交換した人が勝ち。これを4回繰り返す。</p>	<p>・楽しい雰囲気を作るために、見ているグループの生徒と一緒に歌って盛り上げる。(T全員)</p> <p>・移動に支援を必要とする生徒も主体的にゲームに参加できるように、「どの人と交換したいですか」「目が合った人を教えてください」と言葉掛けをする。(T全員)</p>		
50	<p>3 グループ活動をする。</p> <p>【各グループの活動内容】</p> <p>「〇〇〇〇〇」(抽出グループ)(T1、T2)</p> <p>【ルール】</p> <p>風船を打ちながら「お題」に沿った答えを言う。全員が言い終わったら、質問や感想を出し合う。</p> <p>【活動説明】</p> <ol style="list-style-type: none"> 活動説明(E) 風船トーク <p>「☆☆☆☆」(T3、T4) おみくじトーク、風船パレー</p> <p>「△△△△」(T5、T6) 絵心関係ないゲーム、N/V抜き</p> <p>「□□□□」(T7、T8) トランプトーク、ピン倒し</p>	<p>・グループ全員で交流を進める気持ちを高めるために、リーダーの生徒が交流会に対する意気込みや目標を話す場を設ける。</p> <p>・話しやすい環境づくりを意識できるように、「笑顔」「うなずき」など、事前学習で出された関わりのポイントをあらかじめ移動式ホワイトボードに掲示する。</p> <p>・自分から質問できるように、事前に質問事項を用意することを提案する。(事前学習)</p> <p>・質問しやすいように、関心のある「お題」をいくつか設定する。(事前学習)</p> <p>・自信をもって感想を言えるように、相手が発言したときに「どう思いますか」と発問し、個別に聞き取る。そのうえで相手に話すよう誘い掛ける。(T2)</p> <p>・会話に加わる機会をつくれるように、関心のある話題の場面で質問や感想を話すよう誘い掛ける。(T1)</p> <p>・会話をつなぐ役割を意識できるように、「ここはDさんの出番かな」と誘い掛ける。(T1)</p> <p>・自分から質問できるように、事前に質問事項を用意する。(事前学習)</p> <p>・会話に集中できるように、タイムキーパーは教師が行う。(T1)</p> <p>・指名や質問する相手に気付けるように、「話したそうにしている人はいませんか」「この話題が得意なのは誰かな」などと問い掛ける。(T1)</p>	<p>風船、移動式ホワイトボード等各グループに必要なもの</p>	<p>「〇〇〇〇〇」 A棟 北側ホール</p>
17	<p>4 おわりの会をする。</p> <p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 感想発表(A他1名) 歌 記念写真 〇〇〇高校生退場 	<p>・歌の場面を楽しめるように、教師も歌や踊りに参加したり、積極的に盛り上げている生徒の様子を紹介したりする。(T全員)</p> <p>・記念写真の整列も本校生徒がリードできるように、あらかじめ床にテープで印を付ける。(事前学習)</p> <p>・達成感を高められるように、退場の前に握手やハイタッチなどをする時間を設ける。</p> <p>・体験を基にした感想発表ができるように、心に残っているエピソードやその理由を発表前に聞く。(T2)</p> <p>・交流相手と歌ったり踊ったりできるように、同じグループの交流相手の側に一緒に行く。(T2)</p>		
3	<p>5 本時の振り返りをし、次時の予定を聞く。</p>	<p>・交流会を終えた達成感や満足感を得られるように、交流相手からの感想を再度紹介する。(T1)</p> <p>・他グループの活動の様子が分かるように、各グループのリーダーに感想を尋ねる。(T1)</p>		
		A (1年・男) B (1年・女) C (1年・男) D (1年・男) E (3年・男)		

(5) 評価

- <生徒>事前学習で考えた関わりのポイントや質問事項を用い、交流相手と主体的に関わっていたか。
- <教師>生徒が事前学習を生かして主体的に関わるための誘い掛けや話しやすい環境づくりは適切だったか。【働き掛け】